

天王山・淀川 歴史と文化 うるおいのあるまち

広報

おやまざき

2

2015(平成27)年

成人おめでと〜ございます！

1月12日祝の成人式会場にて。関連記事を2〜3ページに掲載

今月の主な内容

- 祝 成人式2015 P 2
- 新町長インタビュー P 4
- 税のお知らせ P 8
- この春は、乙訓を楽しむツアーへGO! P 10
- 嘱託員(学童保育指導員)を募集します P 12
- 臨時職員の登録を受付します P 12
- スライドでみる長岡京発掘60年 P 13
- 中央公民館よりとっておき教室のお知らせ P 14
- 行財政改革の主な取組状況をお知らせします P 14
- 「城」フォトコンテスト 入賞作品 P 15

vol.565

<http://www.town.oyamazaki.kyoto.jp>



1月12日の成人の日、町体育館で成人式を開催しました。今年成人を迎えたのは、関西国際空港が開港し、宇宙飛行士の向井千秋さんが日本人女性として初の宇宙飛行をした平成6年度生まれの皆さんです。

式場は色鮮やかな振袖やスーツをピシッと着こなした皆さんであふれ、終始和やかな雰囲気。式典では成人としての自覚をあらたに、町長をはじめとした人生の先輩方からのメッセージや、新成人代表のことばなどに真剣に耳を傾けていました。お楽しみの中の時代の先生からのビデオレターが流れると、会場は恩師の姿や当時の自分たちを懐かしむ声でいっぱいになりました。

今年も天候にも恵まれ、いつもと違う友人の晴れ姿や旧友との再会を楽しみ皆さんの笑顔は、きらきらと輝いていました。

写真を販売します

成人式で撮影した写真を販売します。役場ロビーでの写真の展示は行いませんのでご注意ください。

販売期間 2月13日(土)まで

販売価格 1版1枚40円

※集合写真のみ大きいサイズも用意します。

支払いは現金でお願いします。販売方法 役場3階政策総務課秘書広報係(32番窓口)で写真の一覧をご覧ください。欲しい写真があればお申し込みください。写真のお渡しは後日になります。

問 政策総務課秘書広報係
☎ 956-2101(内312)





山本 圭一 新町長

Top Interview

平成26年10月19日に行った大山崎町長選挙で初当選を果たし、12月5日に新しい代表として町長に就任された山本圭一新町長。平成30年12月4日までの4年間、わたしたちのリーダーとして活躍される新町長に、抱負や町政運営の展望などについてお話を伺いました。

爆発しそうなくらいのやる気があります。

―就任に当たったっての抱負を聞かせてください。

今回の選挙は非常に厳しい選挙戦でしたが、多くの有権者の皆さんからご支持をいただき、当選させていただきました。就任まで1カ月以上の時間があつたのですが、その間は本当に重責を感じて毎日でした。しかし、就任した以上は有権者の皆さんの期待に応えることが私の使命ですし、爆発しそうなくらいのやる気がありますので、とにかく若さと行動力をしっかりと発揮していきたいと思えます。

―それでは、選挙で掲げられたマニフェストについて、お聞きます。まず、「住民が中心のまちづくり」とは？

これは、これまでのように行政中心ではなく、行政と町民の皆さんが手を取り合って町民の皆さんの意見を中心としたまちづくりをしていき

たい、ということ。

現状の大山崎町の数ある課題の中で私が最も大きな課題と考えているのは、町民の皆さんと行政の距離の乖離です。その原因はもちろん行政側にもあるのですが、町民の皆さんにご理解を求め、一緒に進めていくことが必要だと考えています。

―大きな柱として、「まちづくり会議」の設置を掲げていますね。

「まちづくり会議」は、この「住民が中心のまちづくり」を実現するために不可欠なものです。行政、町民、各種団体、関係機関、そして企業も含めた、真の「オール大山崎」の体制で、現状の課題についての共通認識を得、今後のまちづくりの方策を、誰もが遠慮することなく話し合っていく必要がある。できる限り速やかに設置し、地方自治の本旨とされる「団体自治」と「住民自治」をバランスよく発展させていきたいと考えています。

行政、町民、各種団体、関係機関、そして企業も含めた真の『オール大山崎』体制で、課題を話し合っていきたい。

―次に、「安定した財源確保」ですが、その確保策をお聞かせください。

私が掲げた政策目標を実現するために、「安心・安全」はその土台となるものであり、そのための財源確保は不可欠です。雨水排水施設の再整備を始めとする各種の都市基盤整備事業に要する経費は今後ますます必要となります。少子高齢化対策など福祉施策を中心とした各種の事業にもまだまだ多くの経費を要します。

今までは都市基盤整備事業を言わば先送りして、どうか財政を維持していましたが、これ以上の先送りできないと思っています。そのため、私は今回の選挙戦において、有権者の皆さんにとっては新たな負担となる都市計画税の導入も公約として掲げました。

―当然、議会での議論が必要になります。

待ったなしの事業を着実かつ計画的に実施し、町民の皆さんに住んでいてよかった、と思ってもらえるまちにすることが何よりも大切です。そのために、この都市計画税については議会ですっきりと議論を重ね、速やかな導入を図っていきたくと考えています。ご理解をいただければと思います。

―次に、「キラリとひかるまち」ですが、まちの将来をどのように描いていますか。

大山崎町は京都府内で一番小さな面積のまちですが、小さくとも強く、明るい輝きを放つような、そんなまちをつくりたいと考えています。



平成26年12月5日、京都府庁を訪れ、山田知事に就任の挨拶を行いました。

みんながイキイキとした表情で、やりがいや生きがいを感じられるまちへ。

今回の選挙戦で、私は「未来を創造 自律したまちづくり」というフレーズを一貫して用い、公約として、有権者の皆さんへ訴えをさせていただきました。これには、この大山崎

町の20年後・30年後の未来をしっかりと見据え、夢を描き、ビジョンを明確にした上で、その実現への道筋を打ち出したいという思いがあります。私が描く20年後・30年後の大山

崎町の姿とは、行政だけではなく、地域の多種多様な主体がお互いの役割や使命を相互に深く理解しあっている姿。また、そんな人々が地域の課題に対して、それぞれが自らの持つ力を最大限に発揮し、時には補完し合い、解消している、そんな姿です。そこには、「自助・共助」と「公助」が調和された、自らを律する、自律したまちの姿があります。そうすれば、まち全体に決して崩れることのない信頼関係が生まれ

る。それをベースに、みんながイキイキとした表情で、やりがいや生きがいを感じられるようなまちになればと思うのです。これが、私の考えるこのまちで暮らすもの、働くもの、訪れるもの、立場や年齢、性別に関係なく、すべての人が光り輝く「希望と誇りある大山崎町」の形です。

—ありがとうございます。では次に、町政に関わるうと思っただきっかけをお聞かせください。

私は町議会議員に当選させていただく以前にPTA活動をしていました。その活動を通して、私は子どもたちの安心・安全の確保という視点から、道路や交通問題に関心を持ち、また、地域の防犯体制を確立させることの重要性を感じていました。

—消防団員としても長く活躍されてましたね。

消防団では地域の防災力を高める必要性や「自助・共助・公助」のあり方などを学びました。そうした経験から少しずつ政治に対する関心が膨らみ、自分が生まれ育ったこのまちをもっとよくなりたいと思っただけが町政への関わりのきっかけです。

住民中心のまちづくりを進めるうえで、地域の連帯感やコミニティを取り戻していく必要があると思います。

—当時の経験や思いをどう生かしますか。

「住民が中心のまちづくり」を進める上で、これらの経験は大いに生かせるのではないかと考えています。例えば私が取り組んでいた子どもたちの見守り活動や地域の防災活動は、本来行政ではなく町民の皆さんが自主的・主体的に行うことができる活動。私は、実際に町民としてこれらの活動をしていた経験から、これらはしっかりとしたコミュニティの中で自ら自ずと対応できるようになっていくものだと思いますし、そのために、いま失われつつあると言われている地域の連帯感やコミュニティといったものを取り戻し、「地域力」を上げる必要があると考えています。私は町民の皆さんにとっての「身近な町長」として、皆さんのご意見をしっかりと聞かせていただいたうえで、このような地域力を支え・底上げしていきたいと

思っています。

—最後に、プライベートについてお聞かせください。

—何か趣味をお持ちですか？
ずっと町内で商売をしていたため、なかなかまとまった時間が持てなかったこともあり、これといった趣味は思いつきません。強いて挙げれば、子どもたちの習い事やクラブの試合を追っかけのように見に行っていたくらいです（笑）。

—ご家族と一緒に過ごす時間を大切にされているんですね。家族構成についてお聞きしてもよろしいでしょうか。

高校の同級生だった妻と、大学生と高校生の子どもが3人です。—休日はどうのように過ごしているのでしょうか？

今は下の子たちも高校卒業間近で、以前のようにクラブ活動の追っかけができなくなりましたので、非常に寂しいのですが、そのぶん

家で家族一緒の時間を大事に過ごしています。

—特技は？

高校時代、ラグビー部に在籍していました。ポジションはバックスで足には結構自信があります。あと、特技ではないですが、甘いものがとにかく大好きです。

—それでは最後に、大切にしている言葉があれば教えてください。

「心ひとつ」と「真実はひとつ」です。

「心ひとつ」は、子どもが小学

生の頃、サッカーの試合でチームみんなが叫んだ言葉。それを聞いた瞬間、体が震えたことを今でも鮮明に覚えています。

「真実はひとつ」は、物事一つに対していろんな意見があったとき、その多くを耳にしたとしても、とにかく「真実はひとつ」として惑わされない心を持つことが大事だと思うので、それを自分自身常に意識するために大切にしている言葉です。

—ありがとうございました。



問・提出＝右京税務署
〒615-0007 京都市右京区西院上花田町10-1
☎311-6366 (代表)
※こちらの番号にかけて音声案内の「0」を選択すると、コールセンターにつながります。ぜひご利用ください

税のお知らせ

もうすぐ確定申告

所得税の確定申告は2月16日～3月16日

申告書類の提出はお早めに

平成26年分の所得税の申告期間は2月16日～3月16日。申告期限が近づくと確定申告会場（京都府中小企業会館）は大変混雑します。お早めに申告してください。なお、申告期間中は町税住民課でも申告書類をお預かりして税務署に提出しますが、申告内容についての相談を受けたい方は、確定申告会場または出張相談会場をご利用ください。

※相談者が多数の場合、早めに受付を終了します。時間に余裕をもってご来場ください

申告書の作成は、国税庁ホームページ「確定申告等作成コーナー」で！

画面の案内に従って金額などを入力すると、申告書を自動で作成できます。作成した申告書は印刷して郵送するか、e-Tax（国税電子申告・納税システム）で送信してください。e-Taxは国税庁ホームページ「確定申告特集」からご利用ください。
■ <http://www.nta.go.jp>
※e-Taxを利用するために必要な電子証明書の取得方法は町ホームページに掲載しています

年金受給者の確定申告について

次の要件いずれにも該当する場合、所得税の確定申告（提出、納税）が不要です。

ただし、所得税の還付を受ける場合は申告書類の提出が必要です。

町・府民税（住民税）の申告

平成27年1月1日現在、町内に在住で、次の要件いずれかに該当する方は、町・府民税の申告が必要です。

※所得税の確定申告をする方を除く要件

- ① 給与所得者で、事業所から町役場に給与支払報告書の提出がない
- ② 給与所得者で、給与以外の所得がある
- ③ 公的年金受給者で、社会保険料控除などの所得控除を受ける

※公的年金収入だけの方で、確定申告の必要のない方が町・府民税の申告で▼社会保険料控除▼扶養控除▼生命・地震保険料控除などを申告した場合、申告しない場合に比べて町・府民税額が下がる場合があります

- 申告時の持物
- ① 本人確認できるもの（運転免許証、健康保険証など）
- ② 印鑑



④ 収入明細書（源泉徴収票、支払調書、帳簿など）
⑤ 社会保険料（国民年金保険料）控除証明書、国民健康保険料などの領収書
⑥ 生命保険料、地震（損害）保険料支払証明書
⑦ 身体障害者手帳、戦傷病者手帳など
※④～⑦は各控除に該当する方のみ

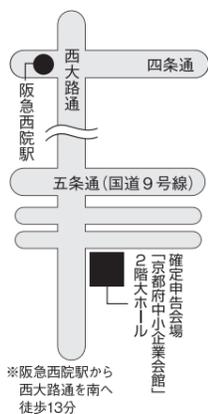
申告期限
3月16日

問・提出先＝税住民課税務係 ☎956-2101（内141・144）

各種会場のご案内

■確定申告会場

ところ＝京都府中小企業会館



※阪急西院駅から西大路通を南へ徒歩13分

開設期間＝2月4日～3月16日
（土曜祝を除く）午前9時～午後5時
※譲渡所得・贈与税は京都府中小企業会館2階大ホールの確定申告会場、相続税については右京税務署で相談ください

■出張相談会場

ところ＝長岡京市立総合交流センター「バンビオ1番館3階メインホール」



バンビオ1番館 長岡京市立総合交流センター

開設期間＝2月24日～26日
午前9時30分～午後4時
※譲渡所得・贈与税は京都府中小企業会館2階大ホールの確定申告会場、相続税については右京税務署で相談ください

※当会場での納税は不可。お近くの金融機関をご利用ください
※電話による問い合わせ不可。駐車場（有料）には限りがあるため公共交通機関でお越しください

■広域申告センター

ところ＝池坊短期大学美心館地階アツセンブリホール
サラリーマンなどの皆さんの確定申告ができます。

開設期間＝2月22日～3月1日
午前9時～午後5時

開設期間以外（土曜祝を除く）は、右京税務署で相談を行います。
※NHK京都放送局のデータ放送（リ

- ③ 本人の希望で個室にした場合の差額ベッド代
- ④ ガソリン代、駐車料金、高速料金

各保険料の納付額は、社会保険料控除の対象になります

平成26年1月～12月に納付された▼国民健康保険税▼後期高齢者医療保険料▼介護保険料が対象。なお、納付額は下記のもので確認できます。

□座振替をご利用の方…預金通帳

納付書払いの方…領収書

特別徴収（年金からの天引き）の方…日本年金機構、各共済組合などから送付される「平成26年分公的年金等の源泉徴収票」

紛失などで納付額が分からない方は、保険証など本人確認ができるものを持参し、健康課（役場1階3、4番窓口）まで。

※国民年金保険料も社会保険料控除の対象となります。詳しくは日本年金機構までお問い合わせを

問＝健康課保険医療係 ☎956-2101（内127・128）

健康課高齢介護係（内137・149）

日本年金機構 ☎0570-058-555

（ナビダイヤル）☎03-6700-1144

医療費控除を申告する方へ

申告対象となる年の間に、あなたやあなたと生計を共にする配偶者そのほか親族のために支払った医療費がある場合は、医療費控除として所得から差し引くことができます。

支払った医療費－保険金などで補てんされる金額－10万円または総所得金額の5%のいずれか少ない方＝医療費控除額（最高200万円）

《申告の注意》

- ① 申告の対象ではない年の日付の領収書は申告できません
- ② 領収書は原本が必要です
- ③ 領収書は、人ごと・病院ごとに分け、支払金額や補てんされる金額を計算します
- ④ 申告された医療費控除に、対象にならない支払がある場合は申告の対象外とします

※おむつ代については、一定の条件を満たすと医療費控除の対象になります。詳しくは高齢介護係まで

《控除の対象とならないものの例》

- ① 健康維持、予防のために支払った金額（インフルエンザなどの予防接種、健康診断の費用）
- ② 健康増進のための栄養ドリンクや健康補助食品

バスで、歩いて！ めったにできないふるさと体験をしてみませんか？

この春は、乙訓を楽しむツアーへGO!

問＝経済環境課経済観光係
☎956-2101 (内244)

京都・西の観光推進協議会と京阪バスの提携企画(バスツアー)

京都・西の観光 錦水亭、竹御膳と乙訓の至宝に触れる特別な旅

2月22日回、3月8日回



▲アサヒビール大山崎山荘美術館

中小路家住宅のひな人形鑑賞や聴竹居見学など、普段なかなか見ることのできない乙訓地域の施設を1日で見学することができるバスツアー。それぞれの施設では地元ガイドが詳しい説明を、昼食で訪れる長岡京市の錦水亭では、女将が日本の伝統文化「和食」や乙訓名産のタケノコのお話などをしてくれます。この機会にぜひ観光バスを利用して、乙訓地域を巡ってみませんか。

とき 2月22日回・3月8日回
午前10時30分～午後4時25分

コース(バスツアー)
京都駅烏丸口～中小路家住宅(ひな人形鑑賞あり・抹茶付)～錦水亭(昼食・女将のお話付)と梅林見学～アサヒビール大山崎山荘美術館(普段入館できない彩月庵と椽の木茶屋に入ることができま)～聴竹居～京都駅烏丸口

参加費 大人8,910円、子ども6,540円
※8人以上でグループ割引あり
定員 24人

予約方法 電話で左記まで、または京阪観光バスホームページから予約してください。申込先 京阪定期観光バス予約センター(京都駅八条口案内所内) ☎672-2100 (午前7時40分～午後8時)
https://resv.kyototeikikan.co.jp/Teikan/Web/Default.aspx
※予約をしないまま、当日席の空きがあれば乗り場から直接参加していただくこともできます

京・大山崎からお届けするおもてなしツアー(ガイドツアー)

大山崎魅力発見ツアー

2月21日 土



▲妙喜庵(待庵)

通常は1カ月前に予約しないと拝観できない利休作・国宝茶室の「待庵」と、天皇、皇后両陛下も絶賛された昭和初期の名建築「聴竹居」。めったに見学拝観出来ない2カ所をセットで堪能していただくガイドツアーです。また、今回はアサヒビール大山崎山荘美術館内の未公開建物「彩月庵・椽の木茶屋」にも特別に入場していただけます。是非ご参加ください。講師からどんな大山崎の歴史秘話が聞けるかお楽しみに。

とき 2月21日 土
午前9時30分～午後3時30分
集合場所 大山崎ふるさとセンター

コース
妙喜庵～聴竹居(山崎駅前にて一旦昼食解散)～宝積寺～アサヒビール大山崎山荘美術館(見学後解散)
※昼食は各自

定員 25人(先着順)
参加費 5,000円(拝観料、保険代)
主催 におもてなしウィーク実行委員会(大山崎町役場・大山崎商工会)
申込方法 往復ハガキに 参加者全員の氏名(ふりがな) ▼住所 ▼年齢 ▼携帯電話の番号を明記のうえ下記まで。
※1枚につき2人まで申込可
申込先 ☎618-8501 大山崎町字円明寺小字夏目3 大山崎町役場 経済環境課内 大山崎魅力発見ツアー係
問 経済環境課経済観光係、おもてなしウィーク実行委員会
☎956-4600

乙訓歴史探訪 ミステリークイズラリー 3月21日 祝

今回のツアーは、参加するまで行き先がわからないミステリーツアー！ 6カ所の立ち寄りポイントをめぐり、各ポイントで道案内人から次の行き先を聞き出して、乙訓地域を巡ります。クイズ成績優秀者には豪華景品をプレゼント！
ゴール地点ではガラポン抽選会やご当地物産店、ゆるキャラとの撮影会などのお楽しみイベントもあります。乙訓地域の歴史名所で、歴史上の人物とまち案内人があなたの挑戦をお待ちしています。
参加無料、小雨決行。当日受付をします。



●あそびかた

受付場所にてクイズシートとシール台紙を受け取り、各スポットに散らばる歴史上の人物とまち案内人を見つけます。そして、
①歴史上の人物から次の目的地を記載したシールを受け取り探訪
②まち案内人の歴史ガイドを聞いてご当地歴史クイズに回答
③歴史上の人物と写真撮影
以上の3つの行動を繰り返し、ゴール地点を目指します。

とき 3月21日 祝 午前9時～午後3時(予定)
集合場所 朝堂院公園(向日市)
阪急西向日駅下車すぐ

コース
朝堂院公園(向日市)～乙訓地域の歴史名所を探訪(ミステリークイズラリー形式)～阪急大山崎駅周辺の歴史名所
対象 小学生以下の子どもは大人同伴
定員 1,000人(先着順)
参加費 無料
主催 京都・西の観光推進協議会(向日市・長岡京市・大山崎町)
共催 阪急電鉄株式会社
協力 株式会社東映京都スタジオ